

池田町の財政事情お知らせします

池田町では、年2回（8月・2月）、予算などの財政状況を公表しています。これは皆さんが納めた税金や地方交付税、国や県からの補助金などの大切なお金がどのように使われているか、また借入金はいくらあるかなどをお知らせし、町民の皆さんにご理解いただこうとするものです。

今回は平成30年4月から平成30年9月末日までの上半期分を紹介いたします。

主な事業として、南部リサイクルセンターと片山保育園の建設を行います。また、子育て就労・応援センターの完成により児童館事業と子育て世帯の働きたい人に就労の機会を提供し、子育て環境の改善ができるように支援業務を行います。養老鉄道支援事業では、（二社）養老線管理機構の運営を支援し養老線の活性化に取り組んでいきます。

地方創生については、移住定住対策に重点を置き、町内の空き家を取得して居住する方には5年間固定資産税を免除するほか、改修費の一部を助成し、居

住者の中に子どもがいる場合は1人につき2万円の加算を行います。なお、宮地地区にあつては、空き家だけでなく新築による居住であっても固定資産税の免除を行うなどの優遇措置を設けます。また、大津谷公園整備を継続し施設内のトイレ、桜山館の改修を行います。昨年度開設したまちづくり拠点「霞溪舎（かけいしゃ）」（池野駅駅舎）を活用し、まちづくり事業や移住定住促進事業を推進していきます。

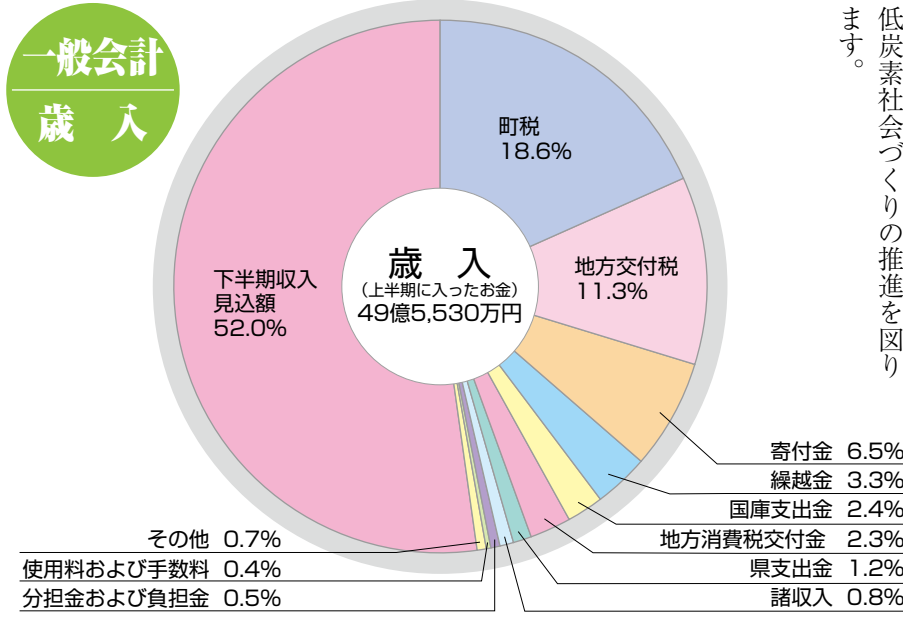
観光については、池田温泉において、5月31日に総入浴者数1,050万人を達成し、さらなる利用者増を図っていきます。また、池田まるっと体験交流ツアー事業としてレンタサイクルを活用した体験ツアーを企画・実施していきます。

学校教育については、老朽化した池田中学校校舎の大規模改修を実施していきます。また、英語教育の充実を図るため2泊3日でオールイングリッシュの合宿を実施しました。

平成30年度より農業水利施設

設のもつ包蔵（ほうぞう）水力を利用した小水力発電事業を行い、土地改良施設や農村振興施設の維持管理費節減による地域経済の安定および農村の振興への寄与、CO2排出削減による低炭素社会づくりの推進を図ります。

歳入では、町税や地方交付税の収入増額が高くなっています。これは、固定資産税や軽自動車税など町税の納期が上半期



内 訳	予 算 現 額	上半期の収入済額	収入率%
町 税	28億 5,081万円	19億 1,799万円	67.3
地 方 交 付 税	16億 8,855万円	11億 7,384万円	69.5
寄 付 金	10億 1,055万円	6億 6,902万円	66.2
繰 越 金	3億 4,145万円	3億 4,145万円	100.0
国 庫 支 出 金	8億 2,593万円	2億 4,605万円	29.8
地 方 消 費 税 交 付 金	4億 600万円	2億 4,189万円	59.6
県 支 出 金	6億 5,352万円	1億 2,157万円	18.6
諸 収 入	3億 544万円	7,848万円	25.7
分担金および負担金	1億 5,531万円	5,170万円	33.3
使用料および手数料	7,596万円	4,051万円	53.3
そ の 他	20億 2,585万円	7,280万円	3.6
合 計	103億 3,937万円	49億 5,530万円	47.9

町の財産 (H30.9.30 現在)

土 地	680,149.51㎡
建 物	104,424.75㎡
出 資 金	2億7,344万円
債 権	912万円
有価証券	1,080万円
基 金	33億 517万円